

奄美海上保安部便り 第 75 号

- ・ 第 75 号は 2025 年 3 月から 2025 年 5 月までの活動状況などを掲載しております。
- ・ 奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



巡視船「あまみ」就役披露式

5 月 31 日の午後、名瀬第二地方合同庁舎において、約 70 名のお客様をお迎えし、奄美海上保安部に新たに配属となった巡視船「あまみ」の就役披露式を開催しました。



大達本部長挨拶



三反園衆議院議員御祝辞



小園県議会議員御祝辞



幹部乗組員紹介



4 月 3 日名瀬港初入港時の状況

本号から「目指せ、海上保安官！」のコーナーを設け、高校生の皆様に海上保安庁の教育機関である「海上保安大学校」、「海上保安学校」等の案内を行います。現役海上保安官のメッセージを掲載していますので、ぜひ参考に願います。



お問い合わせ先 奄美海上保安部 管理課
TEL 0997-52-5811

◇ 就役披露式終了後に船内見学会を行いました。



令和7年海開き～安全祈願～

旧暦の3月3日（奄美の方言でウナグヌセック）となる3月31日、ばしゃ山村、大浜海浜公園において奄美市主催による海開きの神事が行われ、大場海上保安部長及び平原保安部次長がそれぞれ参列し、海の安全を祈願しました。



ばしゃ山村



大浜海浜公園



✚ 薬物乱用防止教室 in 緑が丘小学校

3月12日、奄美市立緑が丘小学校（児童9名、教職員2名）において、薬物乱用防止教室を行い、児童たちに対して、薬物の種類や薬物が身体に与える影響等について講話を行いました。



✚ 異動時期における名瀬港フェリーターミナル警戒

3月31日、4月1日、異動時期に奄美航路のフェリー利用客が増加することから、テロ警戒及び犯罪の未然防止を目的として、名瀬港フェリーターミナルの警戒を実施しました。



✚ 春季大型連休安全推進活動等

◇龍郷町のマリン事業者への海難防止講習会

4月13日、大島地区消防組合 龍郷消防分署（龍郷町）において、マリン事業者（8事業者22名）に対して、小型船舶運航時と及びマリンレジャー活動中の事故防止に関する海難防止講習を行いました。



◇奄美空港での合同啓発活動

GWの初日の4月26日、奄美空港において、警察・消防と合同で、羽田便及び関空便で到着した観光客に対して水難事故防止を呼びかけました。



◇赤木名小学校児童への海上安全教室

5月3日、赤木名海岸において、海上安全指導員である有川氏主催による赤木名小学校（児童16名）へのマリンレジャー体験学習が行われ、その中で保安部交通課職員による海上安全教室を開催しました。



◇名瀬港 GW 期間中のフェリーターミナル警戒

4月29日、5月6日、名瀬港において、テロ警戒及び犯罪の未然防止のため、巡視船「かいもん」乗組員により、フェリーターミナル等の警戒を行いました。



◇古仁屋港 GW 期間中のフェリー安全確認等

5月2日、テロ警戒、犯罪未然防止のため、古仁屋海上保安署巡視艇「いそなみ」乗組員により、「フェリーかけろま」の安全確認と警戒を行うとともに、観光客に対し水難事故防止の呼びかけを行いました。



ターミナル警戒



船内安全点検



救命設備点検

古仁屋港クリーン作戦 ～わきやなきや きよらさ 海を後世に～

4月19日、古仁屋漁港清水地区・嘉鉄地区のSD（スキューバダイビング）スポットにおいて、古仁屋海上保安署職員、防災関係機関、港湾利用企業及び高校生等合計120名が参加し、「古仁屋港クリーン作戦」が開催され、軽トラック3台分のごみ（飲料缶・びんが大半）を回収しました。

同活動は「瀬戸内町海を守る会（奄美群島SD安全対策協会）」がボランティア活動として、30年前から継続して実施しているものです。



龍北中学校との漂着ごみ分類調査及び海岸清掃

4月24日、龍郷町立龍北中学校の生徒10名、教職員4名とともに、嘉渡海岸において、漂着ごみ分類調査及び海岸清掃を実施し、約41kgの漂着ごみを回収しました。

また、これから本格化するマリンレジャーシーズンに向けて、海難防止講習を行いました。



漂着ごみ分別調査



海難防止講習

「海洋環境保全推進月間」 ～「未来に残そう青い海」～

海上保安庁では、5月30日（金）から6月30日（月）までを「海洋環境保全推進月間」と定め、「未来に残そう青い海」をスローガンに、海事関係者等や若年層を含む一般市民に対して、海洋環境保全に関する指導や啓発活動を重点的に実施します。

巡視船あまみ与論島初入港及び救難防災合同訓練

5月18日、本年3月に奄美保安部に配属となった巡視船「あまみ」は、与論島茶花地区に初入港し、沖永良部与論地区広域事務組合と急病人の船内への搬送や自然災害に備えた訓練を行いました。



あまみ乗組員による患者搬送訓練



消防職員による患者搬送訓練



意見交換



職場体験学習 ～未来の海上保安官来る その1～

5月13日、小宿中学校3年生（男子1名、女子3名）、5月20日名瀬中学校3年生（男子2名）に対する職場体験学習を実施しました。



～巡視船あまみ乗組員による航海計器取扱説明



～大山埼灯台見学～



～元機動救難士による心肺蘇生法熱血指導～



～警備係長及び鑑識官直伝、鑑識術伝承～

職場体験学習 ～未来の海上保安官来る その2～

5月13日、14日、古仁屋保安署において、古仁屋中学校3年生（女子学生）による職場体験学習を行いました。女子学生は、自ら希望した機関整備や海上安全指導のほか海上環境教室や船内見学など盛りだくさん体験していただきました。



海難救助実習



機関実習



女性海上保安官との意見交換

巡視船「あまみ」への移乗慣熟訓練

5月16日、大島海峡において、監視取締艇「ぱるさあ」を用いて、巡視船「いそなみ」潜水士がいつでも巡視船「あまみ」へ上乗り出来るように移乗慣熟訓練を行いました。



手花部小学校先生への海上安全教室

5月30日、奄美市笠利町前肥田海岸において、手花部小学校先生からの依頼を受け、保安部交通課職員により先生5人に対し「マリンレジャーの事故防止対策」に関する海上安全教室を行いました。



あまみエフエム（77.7MHz）に生出演



3月6日、交通課職員と管理課長が、あまみエフエムに出演し、交通課からは、遊泳中やスノーケリング中の事故防止について呼びかけを行い、管理課長からは3月に新たに奄美海上保安部に配属される「巡視船あまみ」の就役についてお知らせを行いました。



4月3日、交通課と警備救難課の職員があまみエフエムに生出演し、交通課からは、近年の奄美群島全体における釣り中の事故の特徴と注意事項について、警備救難課からは遊漁のルール等について周知するとともに、当日「巡視船あまみ」が名瀬港に初入港することのPRを行いました。

釣りを安全に楽しむためのお約束！

- 1 ライフジャケットの着用
- 2 釣り場に合った履物を着用
- 3 連絡手段の確保（防水ケース入りの携帯電話）
- 4 無理をしない（天気予報を十分に確認、体調は万全に）
- 5 単独行動をしない（一人の時は必ず行動計画を第3者に教えておく）
- 6 立入禁止区域には入らない



5月1日、交通課長があまみエフエムに生出演し、GWを迎え、マリンレジャーが活発となることから、海水浴やシュノーケリングの際の注意事項の説明を行い、ライフジャケット着用等の呼びかけを行いました。



本格的なマリンレジャーシーズンの到来です。
注意事項を守って奄美の海で楽しく遊びましょう！

- 1 「子供から目を離さない」
- 2 「海ではライフジャケットを着用する」
- 3 「一人では海に行かないで複数で行く」
- 4 「天気が悪い日は海に行かない」
- 5 「体調の悪い日は海に行かない」



海難の発生状況

3月から5月の間、管内では1隻の船舶事故、6人の人身事故が発生し、そのうちダイビング中の人身事故人、シュノーケリング中の人身事故1人が発生しています。

◇奄美大島西方かつお漁船乗組員負傷

事故者（男性、30歳）は、4月4日1430頃、奄美大島曾津高埼西北西方約14.5海里の海上において、漁船（日南市漁協所属19トン）にて、他の乗組員と共にかつお一本釣り漁に従事していたところ、隣の乗組員の竿にキハダマグロが掛かり、事故者がカギザオを持ち、そのマグロを引き上げようと身を乗り出したところ、錘付き疑似針がマグロの口から外れ事故者の脛にあたり負傷したものです。

事故者は同漁船にて、大熊漁港まで搬送され、1802 県立大島病院に搬送されました。

（診察結果、左硝子体出血、入院の必要なし）



◇瀬戸内町プレジャーボート無人漂流、乗揚げ

事故船舶の所有者（男性、74歳、瀬戸内在住）から、4月20日1200頃、朝は係留場所あった自船（プレジャーボート、6.2メートル）が係留場所から無くなった旨情報があり、

その後、所有者から「花天と管鈍の間の海岸に乗り上がっている自分の船を発見した」との通報を得ました。

事故船舶は、所有者が親戚の船を手配し、翌日21日午前中の満潮にあわせ、引き出し1100頃、花天の港のスロープへ引き上げられました。（油や浮遊物の流出等なし）



◇龍郷町倉崎海岸沖潜水中の事故（減圧病）

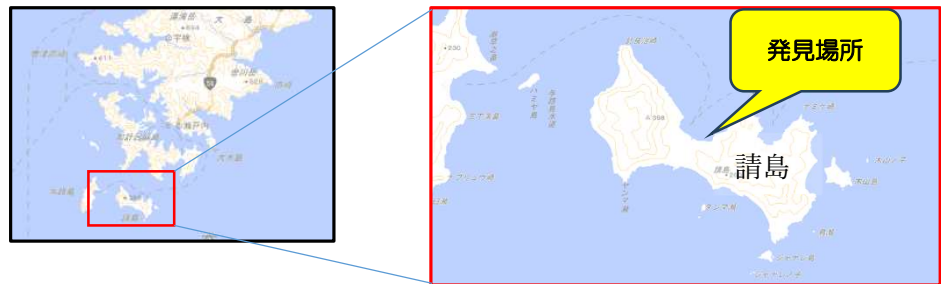
事故者2人（インストラクターA、男性、30歳、客A、男性、50歳、東京都在住）は5月9日、インストラクター2人、客5人計7人でスキューバダイビング中、インストラクターの合図で全員浮上を開始しましたが、このうちインストラクターAと客Aの2人が一緒に海面まで早い速度で浮上してしまいました。

2人には、特段症状はなかったものの、大事をとり救急車により県立大島病院に搬送されました。減圧症の症状は、時間の経過とともに症状が現れることがあることから、2人は経過観察のため入院となりました。



◇瀬戸内町請島(池地海岸)海浜事故(溺水、死亡)

5月15日1530頃、瀬戸内町請島池地の海岸で潮干狩り中の女性(71歳)が溺水し、付近で潮干狩りを行っていた住民等に救助されたのち県立大島病院に搬送されましたが、1753に死亡が確認されました。



◇瀬戸内町清水海岸遊泳者溺水事故

5月11日 事故者(女性、68歳、姫路市在住)は瀬戸内町古仁屋清水の宿泊兼アクティビティ施設付近の海岸にて、シュノーケリングをするため、シュノーケル、ウェットスーツを着用し1600頃から友人と宿泊先のインストラクターと共に、慣水運動を行い、インストラクターの指示や介助を受けながら、波打ち際の浅いところで泳いでいたところ、海水を誤飲しパニック状態となり溺水し、知人により救助され、砂浜まで引き揚げられました。宿のスタッフにより救急隊要請のうえ心肺蘇生等を行い、1700頃救急隊に引継ぎ、県立大島病院に搬送されました。

引き揚げ時には、事故者に意識はありませんでしたが、搬送中の救急車内にて意識が回復しました。



◇瀬戸内町清水溺水者(溺水、死亡)

5月26日、事故者(男性、高知市在住、56歳)は、集合時間の0720になっても、工事現場の集合場所に来ないため、同僚が事故者の部屋を確認したところ、姿はなく近くの海岸に煙草とスリッパを発見したことから、古仁屋保安署、警察、消防にて付近を捜索しましたが行方不明となっていました。

28日0927頃、捜索中の消防救急艇おとりが瀬戸内町埼灯台の西方600メートルの海上において、漂流している遺体を発見し、0948古仁屋保安署監視取締艇ぱるさあにより揚収されました。



急患輸送（1件、1人）

◇かいもんによる喜界島からの急患輸送

4月5日2045、鹿児島県から、喜界島において腸閉塞疑いで至急開腹手術が必要な患者（女性、89歳）の急患搬送要請があり、巡視船かいもんを喜界島湾港に急行させ、同日2255喜界徳洲会病院の医師及び看護師が同乗のうえ患者を大島地区消防組合喜界消防分署から引継ぎ、4月6日0148頃、奄美大島名瀬港にて救急車に引き継ぎ、患者は鹿児島県立大島病院に搬送されました。



湾港での引継状況



名瀬港での引継状況

愛します！
守ります！
日本の海

海上保安官募集

2025年度採用試験のスケジュール

幹部海上保安官になる→海上保安大学校

幹部海上保安官として様々なフィールドで活躍	インターネット受付期間	第一次試験
大卒程度 海上保安官採用試験	2/20(木)～3/24(月)	5/25(日)
高卒程度 海上保安大学校学生採用試験	8/21(木)～9/8(月)	10/25(土)、26(日)

現場第一線の海上保安官になる→海上保安学校

各分野のエキスパートとして現場最前線で活躍	インターネット受付期間	第一次試験
高卒程度 海上保安学校学生採用試験(特別)	2/20(木)～3/13(木)	5/11(日)
高卒程度 海上保安学校学生採用試験	7/11(金)～7/24(木)	9/28(日)

2025年度採用試験から、試験制度の一部が下記のとおり変更となります

- 全採用試験共通：身長および体重にかかる制限の廃止 ※航空課程を除く
- 海上保安学校学生採用試験：海洋科学課程の試験科目の見直し(物理の削除)



海上保安庁
JAPAN COAST GUARD



奄美海上保安部

古仁屋海上保安署



目指せ、海上保安官！



海上保安官になるためには、「海上保安大学校」または「海上保安学校」の入学試験に合格する必要があります。

海上保安官は、巡視船艇などの海上勤務だけでなく、本庁（霞が関）、管区本部（全国11か所）などでの陸上勤務など、様々な業務を行います。

海上保安官に必要な幅広い知識や技能、特殊な業務を行うための専門的な能力を養成するための教育機関として、幹部職員を育成する「海上保安大学校」と現場第一線の職員を育成する「海上保安学校」において必要な知識、技能を身に付けて現場へ赴任することになります。

海上保安大学校は広島県呉市にあり、本科4年（2学年後半から航海、機関、情報通信に分かれる）、専攻科6ヵ月、研修課3ヶ月の計4年9か月の教育を受けます。

海上保安学校は京都府舞鶴市にあり、一般課程（航海、機関、通信、主計、航空整備）は1年間、管制課程は2年間、航空課程は1年間の学校教育の後約2年間の研修を受けます。

どちらも学校という名が付いていますが、入学と同時に国家公務員となり、毎月約20万の給与が支給されます。

両校ともに全寮制で、規則正しい団体生活を通して、海上保安官に必要な正義・仁愛の精神を身に付け、リーダーシップ、チームワーク、気力、体力の充実を図っています。



**次のページから「現役海上保安官からのメッセージ」を掲載しています。
受験のための準備など役立つ情報が沢山あるのでぜひご覧ください！**

現役海上保安官からのメッセージ

これから海上保安官を目指す高校生の皆様のために、奄美海上保安部、古仁屋海上保安署で勤務している若手海上保安官からのメッセージです。

- 1 氏名、年齢、現職、出身高校、入庁年月
- 2 海上保安官を目指したきっかけ
- 3 受験のための準備
- 4 学校の思い出など
- 5 これから海上保安官を目指す高校生の皆様へ一言

- 1 堂上 壮太 20 歳 巡視船かいもん通信士補 熊本県立宇土高等学校 R5.4 入庁
- 2 親を安心させられる公務員系の仕事であり、誇りある仕事をしたかったからです。
- 3 公務員専門学校の無料講習をたくさん受けました。勉強時間は 1 年、主に数的推理、判断処理の勉強をしました。いかに自分にあった勉強法を行い、効率よく勉強することが合格の近道だと思います。
- 4 遠泳というチームワーク活動を乗り越え、協調性の大事さを学びました。
- 5 やりがい、そして誇りある仕事です。その点を選んで後悔することはないと考えます。海上保安官と聞くとキツく辛いイメージがあると思いますが、気持ちさえあれば問題ありません。頑張ってください！

- 1 平野 直哉 26 歳 巡視船かいもん機関士補 熊本学園大学付属高等学校 H30.10 入庁
- 2 予備校に受験案内が届いたため
- 3 高校まで部活一筋、テストは毎回クラス下位だったので、中学校の内容から勉強をやり直しました。予備校で隣の席にいた勉強一筋な人に勉強で勝ちたくて頑張りました。
- 4 海上保安官として必要な勉強や、集団生活ならではの制約など、苦しい 1 年でしたが、苦楽を共に出来る仲間に出会えたのが思い出です。
- 5 理想的な生活は待っていません。かといって怠っていては理想に近づけません。ただ、海上保安官を目指す以上は理想と違おうが、きつかりがサボらず地道に頑張ってください。テキトーな奴ほど楽しそうにしていますが、頑張っているあなたを評価してくれる人は必ずいます。海保を目指そうが目指さなかろうが、これを見てくれたあなたを私は応援します。

- 1 中野 敬太 27 歳 保安部交通課安全対策係 熊本県立天草工業高校 H30.4 入庁
- 2 取締りや救助等の人に役に立つ仕事をしたかったので受験しました。
- 3 公務員試験の過去問を毎日 2～3 時間程度勉強していました。ある程度の過去問を解いたら自分の苦手な教科や問題がわかるので、そこを重点的に勉強して苦手を克服するようにしていました。他には部活動やボランティアに積極的に参加して自分の長所を増やすようにしていました。
- 4 厳しい訓練もあり大変なこともあります、日本各地から集まった同期と訓練を協力して乗り越えた事がとても良い思い出として残っています。
休みの日に皆で出かけたり、一緒に勉強やスポーツを楽しんでいました。
- 5 海上保安庁は仕事の幅が広く取締りや救助、その他にも事務系の仕事もあるため仕事に飽きがありません。体力に自信のない人でも自分に合った仕事を見つける事ができると思います。ぜひ少しでも興味があるなら海上保安庁の試験を受験してみてください。

- 1 草木迫 聖 27 歳 保安部管理課総務係 鹿児島実業高等学校 H28.4 入庁
- 2 映画「海猿」を見たことをきっかけに海上保安官に興味をいだき目指しました。
- 3 高校3年4月から、本格的に公務員対策の受験勉強を始め、6月からは公務員専門学校の夏季講習に参加しました。勉強がしんどい時は筋トレやランニングをして気を晴らしました。私は勉強が苦手な方でしたが、受験対策したことで何とか合格することができました。
- 4 日々、訓練や試験勉強を頑張る中で、リフレッシュとして、同部屋の同期と週末には外出し、食事をしたり買い物に行ったりしたことが楽しい思い出です。
- 5 海上保安官の業務は幅広く、それぞれに魅力があります。ぜひ一緒に頑張りましょう。

- 1 部谷 翔太郎 28 歳 保安部警備救難課 大分県立中津東高等学校 H29.10 入庁
- 2 学生時代に、「将来、〇〇がしたい!」といった具体的な目標が定まらず困っていた時に、学生募集で学校に来た海上保安官から「海保は業務の幅が広いから、入庁したあとからでも目標を見つけられるよ」とアドバイスをもらったことがきっかけで受験を希望しました。
- 3 高校生まではサッカーに熱中しており、正直勉強はしてきませんでしたが、専門学校に入ってから過去問を解いて、苦手分野を把握し、先生に質問しまくって、点数を伸ばしていきました。点数が伸びるまでは苦しかったですが、部活で培った体力を活かして気合いで頑張りました。
- 4 海上保安学校に入れば、全国から集まった同期と知り合えて、苦しくも楽しい日々を過ごせました。給料も貰えるので、休みの日は、みんなで京都を観光したり、ご飯を食べに行ったりしたのがいい思い出です。
- 5 業務の幅が広いので、やりたい事が定まらず悩んでいる人は最高の就職先だと思います。いつか一緒に仕事をしましょう!

海上保安官はさまざまな経験を積みながら、自分の適性や希望に応じてキャリアアップを図ることができ、あらゆる分野のスペシャリストとして活躍する道があります。



特別警備隊



機動防除隊



機動救難士



特殊救難隊



船舶工務官



武器技術官



南極地域観測隊



国際捜査官



ソマリア周辺海域派遣捜査隊



試験研究官



鑑識官



情報処理官



運用管制官



音楽隊



教育機関教官



海上保安官採用サイト

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>